

様式第5号（事務取扱関係）

市民提案型協働支援事業実績書

補助金コース	ステップアップ コース	
事業の名称	岩谷堂城址顕彰事業	
事業の成果	<p>岩谷堂城址の在りし日の姿を復元図で再現した結果、報道機関の協力もあって市民からの反響が大きく、主要施設への掲示のための複製パネルも追加制作し寄贈した。復元図入りのガイドマップ『岩谷堂城址散策が仆』も、区内小中高校全校児童生徒を始め広く配布した結果地区振興会生涯学習部の協力も得られ多くの参加者を得て現地見学会を共催できた。関連遺構である旧家臣・三瓶家門を市が解体したが顕彰会が引取り、三瓶家ゆかりの松岩寺北門として移設存置できたのも成果の一つである。</p>	
事業の実施状況	実施期間	28年4月1日から 28年11月5日まで
	実施場所	江刺区内（館山地内 館山史跡公園等岩谷堂城址）
	実施内容	<p>岩谷堂城址二ノ丸復元図を専門家(地元画家)に依頼制作。制作発表会を広く公開、原画の保存公開のため掲示用額を調達し公共の場に掲示した。復元図が最寄りの場で見られるように市や学校等公共施設向けに「ハ 秘」を制作寄贈した。俯瞰図入りのガイドマップ『岩谷堂城址散策が仆』を制作、区内全校児童生徒を始め市内そして在京ふるさと会等広く配布し内外に史跡の周知を図ると共に、それをもとに地区振興会生涯学習部と共催で現地見学会を開催して市民啓発に努めた。</p>
事業実施における役割分担	提案者が担った役割	<p>俯瞰図原画制作・マップ印刷及び配布、市民参加の現地見学会開催等主体</p>
	市が担った役割	<p>財政的支援をはじめ事業展開への示唆を地域づくり推進課から戴いた。</p>
	その他の団体が担う役割	<p>商工会議所支所→事業推進への指導協力、マップ配布及び在庫管理。 地区振興会生涯学習部→当顕彰会との共催で現地見学会を開催実現</p>
事業の見通し	<p>① 設置の古くなった大看板・説明版の塗替→復元図化。②二ノ丸への建物配置標識設置の工夫。③城址迄の誘導案内板設置。④模型の制作。⑤地域での出前講義開催。⑥城址全域保全を協働で進めたい。</p>	
今後の課題	<p>市の「担当課」に期待する事項→史跡公園内市管理看板等の改善。歴史遺産保全への主体的指導。土地管理者との「史跡保全」への協力関係調整</p>	

備考

- 1 事業の成果、事業の実施状況、事業の見通し及び今後の課題は、詳細に記入すること。
- 2 事業実施に関する成果品、写真その他の参考資料を添付すること。

様式第2号(事務取扱関係)

市民提案型協働支援事業収支決算書

1 収 入

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	増減額	説 明
補 助 金	300,000	300,000	± 0	奥州市補助金 300,000円
顕彰会自己資金	100,000	35,213	▼64787	岩谷堂城址顕彰会一般会計より 35,213円
協賛金	60,000	150,000	+90000	会員企業等からの協賛金(ｶﾞｲﾄﾞ `広告及びﾊﾟﾈﾙ制作) 150,000円
合 計	460,000	485,213	+25213	

2 支 出

項 目	予算額	決算額	増減額	説 明
俯瞰図制作費	150,000	180,000	+30000	制作委託料 180,000円
ガイドマップ 制作費	300,000	259,200	▼40800	ガイドマップ印刷 A3両面カラー 20,000枚 259,200円
印刷製本費	5,000	0	▼ 5000	現地見学会資料→ｶﾞｲﾄﾞ`使用で不要
保険料	5,000	0	▼ 5000	現地見学会参加者傷害保険料不要
原画掲示用額 縁代	0	12,703	+12703	俯瞰図原画掲示用額縁 12,703円
俯瞰図ﾊﾟﾈﾙ制 作費	0	32,400	+32400	啓発用:俯瞰図複製ﾊﾟﾈﾙ`制作 32,400円
印紙代	0	400	+ 400	
郵送料	0	510	+ 510	
合 計	460,000	485,213	+25213	